

（仮称）韮崎市民交流センター基本概要案

平成22年2月

韮 崎 市

はじめに

韮崎市では、(仮称) 韮崎市民交流センターの整備に向けて、「(仮称) 韮崎市民交流センターマスタープラン(平成21年10月)を公表し、その後、土地及び建物の取得を行いました。

本基本概要案は、現時点におけるフロアごとの整備方針や機能配置についてとりまとめたものです。

経過

平成21年4月16日～6月30日

駅前施設(旧ルネス)活用策についてのアンケートを実施し、広く市民、市内への通学者の意向を調査。

平成21年6月1日～9月4日

市民代表(公募)、学識経験者及び各種関係団体の代表者17名からなる「韮崎駅前施設利活用検討委員会」が設置され、当該施設の取得及び建物の再利用の是非、利活用方法について、検討。

平成21年9月7日

韮崎駅前施設利活用検討委員会により「(仮称) 韮崎市民プラザ基本構想に関する提言書」がまとめられ、市長に答申。

平成21年10月2日～11月20日

利活用検討委員会の提言を踏まえ策定した「(仮称) 韮崎市民交流センターマスタープラン」に関する市民の意向を把握するためにパブリックコメントを実施。

平成21年11月12日

平成21年8月31日から設置された韮崎市立図書館設置構想委員会により検討が行われ、「韮崎市立図書館設置構想に関する要望書」を市長に答申。

平成21年11月27日

パブリックコメントに対する「市の考え方」を公表。

平成21年12月議会

土地及び建物の取得議案が可決。

平成21年12月24日

(仮称) 韮崎市民交流センター整備工事設計コンペが実施し設計業者を決定。

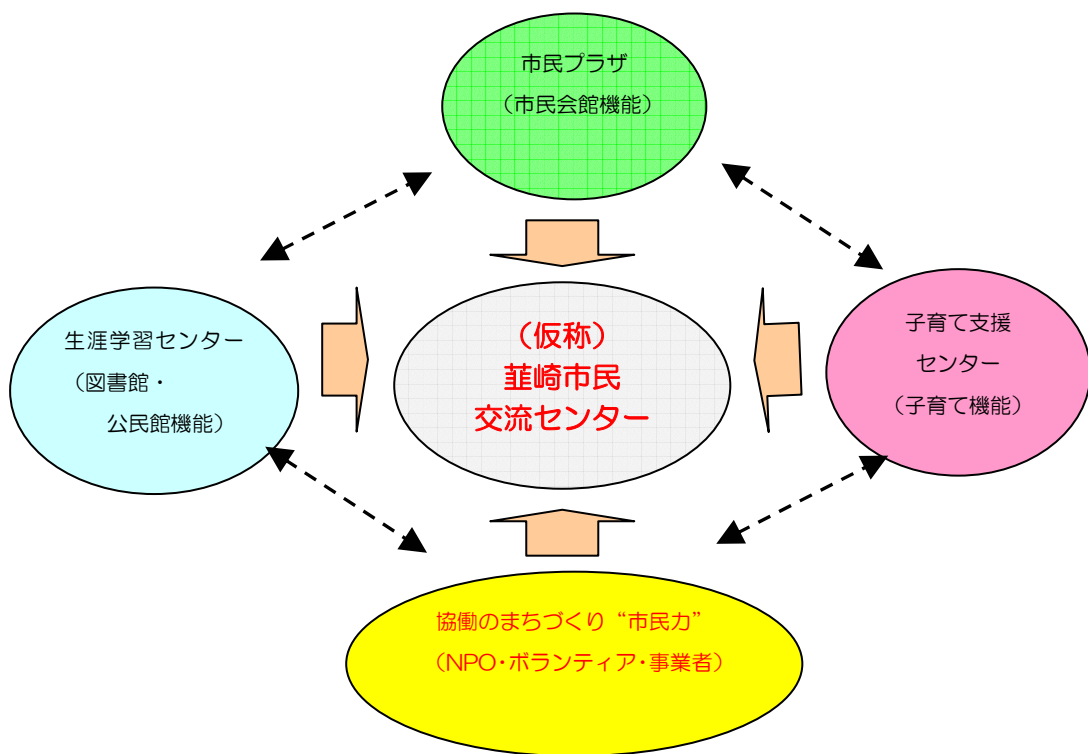
平成22年1月

市で土地及び建物を取得。

1. 整備の基本概要

(仮称) 韮崎市民交流センターは、旧韮崎ショッピングセンタールネスの建物を再利用し、現在の市民会館内にある図書館、中央公民館、韮崎地区公民館及び市民会館の機能と藤井保育園内の子育て支援センターの機能を取り入れた施設とします。また、同時に小林一三、保阪嘉内といった郷土の偉人コーナーや観光振興・サッカーミュージアム、大村美術館など本市ならではのポテンシャルを活かした新機能との有機的な連携を図り、市民力を発揮した新たなまちづくり活動の拠点として整備していきます。

なお、施設の集約による利用者の利便性の向上と賃料収入によるランニングコストの抑制を図るため施設内に民間テナント区画を設けるものとします。



2. 整備対象施設の概要

1. 地域のシンボルとなる外観

韮崎市民に慣れ親しまれてきた建物に、市の施設として、新しい息吹を吹き込むために、ショッピングセンターから文化複合施設へとイメージを一新するよう、韮崎駅側外観に旧宿場町の縦格子を現代風にイメージしたアルミルーバを配し、ガラス面に武田菱をモチーフとしたデザインとしています。

これは、2階の図書館施設、3階の子育て支援施設への採光・換気等に対応するために構造上影響ない部分に開口部を設けたためでもあります。また、旧ショッピングセンターのシンボルマークがありました屋上塔屋部分を撤去しております。その他の部分は、劣化部分の補修および既存外装更新としております。これにより、新しい地域のシンボルとして、末長く市民に親しまれる建物になれるものと考えています。

2. 市民プラザ

設備概要（専有面積 約3,500㎡）

- ・会議室、市民活動支援室、和室会議室

市民の多種多様な集会ニーズに対応するための小規模からやや大きめの会議室。隣接する室との間に移動間仕切りを配し、使用人数・用途に応じたフレキシブルな利用を可能とします。周囲はガラススクリーン（ロールスクリーンによる遮蔽可）により開放的なイメージとします。

また、ボランティア・NPO等の市民団体や小グループが自由に利用できる室を設け、市民活動を幅広く支援します。

このほか、日本的な文化活動を支えるものとして、華道、茶道、着付け、囲碁・将棋等を行える和室会議室（畳敷き）を設けます。

- ・多目的ホール【映像ホール】

老壮大学をはじめ、講演会、演奏会、学校児童の音楽・演劇発表会など、やや大人数の催し物に対応できる映像機器を備えた200名収容のホール。

移動間仕切を開放することにより、隣接するプレイスペース（子育て支援センター）まで拡張した使用を可能とします。

- ・教育相談室

教育相談をはじめ、各種相談や面接を行える部屋です。

- ・郷土の偉人コーナー

ふるさとの文化についての市民の意識の醸成と地域間交流の進展を図るため、小林一三、保阪嘉内をはじめとする郷土の偉人に関する資料・パネル展示を行うコーナー。また、隣接するギャラリースペースを活用した企画展を開催し、“学べる、発見できる”場を提供します。

- ・美術品展示スペース

大村美術館と連携した美術品の展示スペース。世界に誇れる名品に自由に、気軽に市民の皆さまに触れていただけます。

なお、会議室の壁などセンター内には可能な限りピクチャーレールを配し、市が所有する絵画や絵巻などを掲出することにより、“センター全体が美術館”といった「文化のまち」に相応しい雰囲気醸し出していきます。

- ・国際交流コーナー

姉妹都市、アメリカ合衆国・フェアフィールド市と友好都市、中国佳木斯市との相互交流の年表や写真パネル、贈答品など友好の証を展示するコーナー。市民の皆さまに広く姉妹・友好都市について知っていただくとともに、市民レベルで国際交流を推進している団体の情報発信の場とします。

- ・音楽室（兼ダンス室）

吹奏楽や軽音楽など主にグループによる市民の音楽活動を支援する部屋。壁は鏡貼りで防音対策が施されていることから、エアロビクスなどの体操やダンスなどにも対応しています。

- ・スタジオ

バンド演奏に対応したドラム、アンプ等の設備を備えた部屋。

- ・サッカーミュージアム

“サッカーのまちにらさき”を広く紹介する。貴重な資料の展示のほか映像によるサッカー観戦、サッカーに関する情報発信の場。また、隣接するテナントの業態によっては、スポーツカフェ的な利用も期待できます。

なお、Jリーグ・ヴァンフォーレ甲府に関する展示、情報発信を予定し、しており、市民が、サッカーを通じて夢と感動を共有できる未来志向型の拠点とします。

- ・観光振興コーナー

蕪崎市が誇る豊かな自然・歴史・文化などの観光情報発信コーナー。山岳をはじめ峡北地方の観光の玄関口という立地条件を活かし、四季折々、南アルプスの大型山岳写真パネルの掲出を行うなど、蕪崎らしさを観光客にアピールする特色ある情報発信基地として拡充を図ります。また、“サッカーミュージアム”とは一体化したオープンスペースとし、相乗効果を高めます。

なお、現在、JR蕪崎駅構内にある観光案内所の機能を移設します。

- ・地域物産コーナー

桃・ぶどうをはじめとする果物や“穂坂町ぶどう”ブランドのワイン・ジャム等の加工品、地元の土産品特産品等の販売コーナー。センター前の広い歩道スペースを活用することによる朝市の開催など、消費者と生産者の顔の見える交流の場としての活用が期待されます。

- ・オープンスペース

1階ロビー内の一面にテーブル・椅子を配し、センター利用者が待ち合わせや歓談など気軽にくつろげるスペース。自動販売機を近くに置き、飲食も自由にいただけます。

- ・イベントスペース（交流ロビー）

オープンスペース同様にセンター利用者が待ち合わせや歓談など気軽にくつろげるスペース。屋上へと続く吹抜（中庭）は自然光が射し、明るく開放感のある空間となります。また、中庭部分のアルミ折戸をオープンすることにより、イベントの開催スペースとしての利用が可能となります。

- ・総合受付

市民センター全体の総合案内と市民プラザ部分の施設受付・貸出業務を行います。事務室内には集中監視モニターを設置し、センター全体のセキュリティ対策を講じます。

3. 中央公民館・葦崎地区公民館

中央公民館を中心とした市民の主体的な生涯学習活動の拠点とします。また、葦崎地区住民の生涯学習活動の拠点となる葦崎地区公民館を整備します。
設備概要（専有面積 約 400 m²）

- ・中央・葦崎地区公民館事務室、応接室
公民館職員が執務する場所。来館者の応接室を備える。
- ・葦崎地区公民館会議室A・B
公民館活動の目的で葦崎地区住民が専用で使用できる会議室。
- ・調理室
調理台を5台程度設置し、料理教室や調理実習などに利用可能です。
- ・陶芸・工作室
電気窯を設置し、陶芸や工作などに利用可能です。

4. 市立図書館

設備概要（専有面積 約 3,400 m²）

- ・サービスカウンター
（一般カウンター、レファレンス・メディアカウンター、児童カウンター）
総合案内及び学習室、アトリエ研修室の利用受付場所。主な業務は、利用者登録、貸出、返却、返本処理、利用者検索・読書案内、レファレンスサービス、リクエスト受付など。I C タグ方式の導入により利用者の利便性の向上と業務の効率化を図ります。
- ・ブラウジングコーナー
図書館の中の「憩いの場」として新聞・雑誌等の軽読書を目的としたコーナー。
- ・マルチメディアスペース
A V 資料を館内視聴するためのスペース。図書館にある全ての資料形態（C D ・ D V D ・ ビデオ等）に対応した機器を備えます。
- ・インターネットスペース

来館した人が常設するパソコンで気軽にインターネットを利用できます。

- ・閲覧スペース
一般成人・青少年の読書や学習のためのスペース。閲覧用の大きなテーブルのほか、個人閲覧用机を配置。中央閲覧スペース上部は吹き抜けとなっていて、開放感的な雰囲気となっています。
- ・閲覧ブース
図書館内で個人用パソコンが持ち込み可能なブース。インターネット接続可能。図書館資料を自由に閲覧しながら調べもの、資料作成ができます。
- ・児童スペース
幼児から小学生を主な対象とした児童図書の配架、読書スペース。低書架を配し、児童カウンターから見通せる位置とし、安全面にも配慮します。奥には、親子で読み聞かせができるカーペットコーナーを設けます。
また、こどもトイレ、調乳・授乳室を併設します。
- ・おはなしコーナー
お話し会や紙芝居など図書館の催しを行うコーナー。幼児の読書のためのカーペット敷きのスペース。
- ・小会議室
小人数での読書会、グループ研究、会議に利用できる部屋。
- ・くつろぎスペース／ラウンジ
南面はガラススクリーンで図書館のエントランス部分に位置し、明るく入りやすい雰囲気由来館者を迎えます。テーブル・椅子を配し、図書館に入らなくても2階でくつろげるスペース。将来の増床スペースとしても想定しています。
- ・個別学習室／学習室
学生、社会人を問わず、誰でも自由に学習ができます。個別学習室はパソコンの持込みが可能です。学習室はやや広めのテーブルを配しています。
- ・アトリエ研修室1・2
図書館まつりやおはなし会などの図書館行事の準備や図書館ボランティアの活動場所など多目的に利用が可能です。グループでの学習・研究などに利用いただけます。

- ・事務室

図書館サービス全体の運営・管理を行います。

- ・対面朗読室／手話口述筆記室

ボランティアによる朗読・手話で、視聴覚障害を持つ方にも読書に親しんでいただけます。

- ・開架書架

一般書架、児童書架、大型・テーマ本、地域資料など8万～10万冊程度を収蔵します。書架の間隔は広めにとり、高さは見通しのきく4段式としてオープン的な図書館フロアとします。

なお、CD・DVD、ビデオ等のAV資料はマルチメディアスペースに収蔵します。

- ・閉架書架

開架書架に置けない資料を保存しておきます。リクエストの少ない蔵書・資料は3階バックヤードに設ける閉架書架を利用します。

- ・ブックリターンポスト

利用者が休館・閉館時に本の返却が行えるよう、1階の東側道路沿いに設置します。

5. 子育て支援センター

設備概要（専有面積 約600㎡）

- ・プレイスペース

雨天時でも子どもと親が自由に遊べる遊具を配したスペース。床は暖かみがあり、水濡れにも対応可能なコルクタイルを予定。隣接する多目的ホールとの間の移動間仕切を開放することにより、クリスマス会などの催し物にも対応。ソファを配し、親同士の情報交換の場として利用いただけます。

- ・指導員事務室

支援センター指導員、ファミリーサポートセンター協力会員の事務、打合せを行う部屋。子どもがちょっと休めるお昼寝スペースを一角に設置。

授乳・調乳室を併設します。

- ・ランチルーム

センター利用者が持参したお弁当やおやつを自由にとれる部屋。

- ・男子トイレ／女子トイレ／だれでもトイレ

子ども用トイレ、ベビーシート、沐浴室を配します。

6. その他施設

①防災備蓄倉庫・郷土資料倉庫

災害時の防災拠点として、非常用仮設トイレや非常食を備蓄できる倉庫を地下1階に設置します。その他、郷土の資料や市の物品倉庫として有効活用します。

②太陽光発電パネル

二酸化炭素の排出量の削減とランニングコストの低減を図るため、屋上に出力30kW/hの太陽光発電設備を設置します。また、自然エネルギーに対する市民意識の啓発を図るため、1階エントランスロビーに発電量表示板を設置します。

③駐車場（約270台収容）

センター利用者のほか、市民駐車場として立体及び平面駐車場を整備。安心して駐車していただくため、従来より広めのマーキングを行うとともに、立体駐車場の中央部分は軽自動車専用とし、館内入口付近には身障者用を確保します。また、センター来館者の一時的な乗降に対応するため、1階正面玄関前には車寄せスペースや縦列駐車スペースを設置する予定です。

④テナントスペース

収益確保によるランニングコストの低減とセンター利用者の利便性、集客性の向上のため、1階及び3階に民間テナント（1階は飲食・物販系、3階は教育・福祉・健康系）を募集します。

3. 自然環境への配慮・バリアフリーへの対応

市民交流センターは明るく開放的で、太陽光など自然エネルギーをできるだけ活用し、環境負荷が少なくなるよう配慮します。このため、屋上からの自然採光・通風を可能とする吹抜・トップライトを設けます。また、部屋の仕切りにはガラススクリーンを採用し、館内全体の開放感を高めます。さらに、管理コスト削減のために、省エネ対策を実施します。

高齢者や障がい者へ配慮した、立体駐車場からの入口へのスロープ、オストメイト対応の多目的トイレ、手すり等の整備はもとより、センター全体にわたり市民のだれもが安心して使いやすい仕様とします。

4. 外観及び各フロアのレイアウト

外観及びフロアごとの施設配置レイアウトについて別添図面のとおりお示しします。なお、部屋の出入口の位置や各施設内の間取り・設備備品の配置はあくまでイメージであり、今後、基本設計を詰めていく中でレイアウトを含め変更が生じる場合があります。